

地域連携推進会議 議事録 共同生活援助事業 イコイ

会議情報 日時： 令和7年10月14日（火） 13:30～15:00 （施設見学 12:30～13:15）

場所：イコイ本市場

参加者

A 様（利用者本人） I 様（利用者本人） K 様（利用者家族）

地域関係者：I 様（富士市民活動センター・センター長 コミュニティーF）、

福祉知見者：K 様（静岡県レクリエーション協会・副会長）

他施設相談員：A 様（相談支援事業所 アドカラー）、

経営知見者：S 様（NPO法人介護福祉相談支援センター役員）

行政担当：富士市障害福祉課 O 様 GH管理者：石井（イコイサビ管・管理者）、

（株）IEC：遠藤（代表取締役）

- 1, 挨拶 代表の遠藤より開会のあいさつ
- 2, 自己紹介 出席者が自己紹介を行う
- 3, 議事録選出 代表の遠藤より佐々木と利用者家族代表の K 様（補助）選出し異議がなかったため議事録員となる。
- 4, 施設等・地域の連携

<司会より>グループホームの説明を資料をみながら解説していった。

（共同生活援助は訓練給付のため自分で出来ることは自分で行ってもらい自立に向けての訓練を行う場所。18 歳以上の障害のある方や、自立支援医療の制度を利用されている方、特例で 15 歳以上でも使えることがある等）

●イコイグループホームの説明

・イコイは介護包括型 5 つとサテライト 1 つの 6 施設を持っていること、区分なしから区分 1～5 の区分にわけられておりイコイではどの区分でも利用できることを説明し、市役所の福祉課様の方からも補足説明をしていただく。

- ・イコイでは厚原・本市場・岩本の3施設は夜勤帯があるが天間・岩本はステップアップのため一人暮らしの訓練の場として夜勤の配置はしていないことの説明・サテライト施設の設置条件や条件の説明なども行う

(サテライトは半径500m以内にあれば同一法人で2つまで持て、そのほかにも食事はグループホームに食べにくること、2年しか住むことが出来ない等のルールがどうしても(2年の)卒業が困難なときは市に相談して延長することも出来る場合がある。ただし2年間使わないといけないという必要があるわけではない)

- ・他施設(外部包括型)の施設設置の説明やどんな方が利用されているかの説明を行う。

- ・主に利用者で障害で統合失調症の割合が多いため支援の必要性や、重点等の説明を行う。

- ・イコイとして地域交流についてどんなことを行っているかの説明(春堀り、イベントへの参加、お祭りへの参加、区費支払い等)

#### ●近隣からの苦情等の共有

- ・近隣住民のK様よりグループホームの近くに住んでいて利用者様との関係性や印象等を聞かせて頂く。(不安になることはなく挨拶もしっかりしてくださり言われないと障害があるとはわからないくらいです。とのこと)

#### ●地域行事のご案内

富士市民活動センター コミュニティーFのI様より地域の活動について資料を配布して頂き、内容の説明をしていただく。(教育プラザと協同して困っている方々へのフードサポートを行っており食料配布や生活必需品・某企業から野菜を頂いたり持ってきていただいたものを口コミで宣伝することで大規模にならない中で配布する活動を行っている。また社協と一緒に有事のときだけでなく平時も人を派遣できるようにしているが情報共有をしていただければ支援から漏れている方々にも行政やNPOと協力して助け合いが出来る)

(その他)

- ・イコイ利用者様のグループホーム卒業実績とその後の支援についての説明と支援について市役所との連携について説明を行う。

\*\*\*一度質疑応答を行うが特になし\*\*\*

### 5. 施設等やサービスの透明性の確保

#### ●利用者の日常生活の様子について

- ・司会者より説明を行う(日中先B型事業所や就労移行に行かれる方がいる事業所によってはA型事業所や職場に行く方もいる)



●経営状況の報告を行う

- ・ワムネットのかがみを配布し、そちらを検索して頂くと事業所情報とともに収支報告書が掲載されていることを伝える。
- ・経営状態の説明の中で食材費について資料を見ながら説明する(食事は一人27,000円貰っている。朝食350円・夕食550円で食事は世話人の手作りで提供させていただいている。お弁当や宅配サービスの検討もあったがそれでは食事の量が少なかったり、利用者様が味に飽きてしまうこともあったため手作りにしている。また食材の一部に無農薬食材を使うなど利用者様の健康にも配慮したり飽きない工夫をしている。物価高騰もあり、月によっては2,000～3,000円の赤字のときもあるが会社全体で負担している。  
会社全体というのは、もともと派遣事業を行っている利益率が高かったため内部留保で福祉事業をスタートさせ現在は利益率は下がっているが維持は出来ている。但し仮に福祉サービス全体で運営だと赤字に近い。
- ・障害福祉だけでは利益が出ないがイコイについては株式会社で人材派遣から始めているため内部留保で経営を循環させていた。

●BCP(業務継続計画)の策定状況について

- ・資料を見ながら目的についての説明を行う
- ・法人の中で別事業として農業事業があり富士宮市芝川・大久保地区で畑や家を持つことで有事の際に非常食の確保や水・自家発電の確保をしておき災害対策を行える体制を作っている。
- ・BCPで個人情報シートを作成し緊急時の連絡先や障害に合わせた対応が出来るように利用者の許可を得て記載させていただいている。
- ・社長がふじの国マイスターやドローンの資格を持っており、年に3回職員に対しても訓練や指導を行っている。

\*\*\*質疑応答\*\*\*

Q、(相談支援事業所A様より)資料の中で狩猟免許があるが何か理由があるのか？

A、食べ物が無くなったときに狩猟などを行い食材の確保が出来るようにしている。困ったときの必要な知識としてしかく取得をしている。

Q、(市役所福祉課様より)グループホームの需要が増えていますが今後増やしていく予定はあるのか？

A 今後は縮小していく予定。理由として利用者様が就職して自立する方をサポートしていくことや、スタッフの老化、昨今グループホームで火事が相次ぎスプリンクラーの設置義務があるととても経営的に厳しい現状があること。

(不動産業を行っているK様よりイコイが持っている物件と特徴で賃貸の契約上スプリンクラーの設置が厳しい子を説明して頂く)

\*\*\*休憩\*\*\*

6, 利用者の権利擁護

●利用者の意向アンケート結果

・利用者様に満足度アンケートを行いそれをもとに資料を作成したものを見ながら説明を行う。手作り食事満足度・生活環境・職員との関係性・自立の希望について・全体的な満足度について。

●虐待、事故、ヒヤリハットの報告を管理者の石井から行っていただく

今年度は特に報告はなし。音に敏感であったり、利用者同士の距離感が突然近く仲よくしたり、人間関係がギクシャクしたりすることがあるが個々に対応したり世話人やスタッフがフォローしてくださっています。

●支援者の様子

何かあったときは報連相をしてくだり、利用者同士のコミュニケーションの中でも気を聞かせてくださっています。

●最後にアンケートの記入と参加者全員より会議の感想をいただく。

以上

令和 7 年 10 月 14 日 議事録者 佐々木 恵

令和 7 年 10 月 14 日 議事録者 柿畑 有加